

特別展覧会 桃山時代の

狩野派

永徳の後継者たち

Kano Painters
of the
Momoyama Period

Eitoku's Legacy

唐獅子図屏風(部分)
山楽筆 京都・本法寺

あなたは
きつと、
立ち尽くす。

2015年

4・7(火) - 5・17(日)

京都国立博物館(東山七条)

明治古都館 KYOTO NATIONAL MUSEUM

開館時間: 午前9時30分~午後6時(金曜日は午後8時まで)

休館日: 月曜日(ただし5月4日・月・祝は開館)

主催: 京都国立博物館、毎日新聞社、NHK京都放送局、NHKプラネット近畿

後援: (公財)京都文化交流コンベンションビューロー

協力: 野崎印刷紙業 大和ハウス工業 大林組

協賛: 日本香堂

「豪壮」から



重文 豊臣秀吉肖像(部分)
光信筆
愛媛・宇和島伊達文化保存会
【前期4/74/26】



重文 南蛮屏風(左隻部分)
山楽筆 東京・サントリ美術館
【後期4/285/17】

秀吉の計らいで永徳に入門した山楽の代表的風俗画の一つ。この右隻には南蛮船の入港と南蛮寺が、左隻には異国での彼らの生活や風俗が生きて描き込まれている。

2015年は大坂の陣から400年にあたります。豊臣から徳川へと天下の趨勢が一変したこの出来事の前後、武士はもとより、絵師もまた熾烈極まる生き残りかけた戦禍を繰り広げました。とくに権力者と密接に関わってきた狩野派にとって、この時期は棟梁・永徳の死やライバル・長谷川等伯の台頭、来るべき新時代の覇者の見極めなど、一門にとって最も苦しく、また難しい判断を下さねばならない激動の時代でした。本展は、狩野派史上最大のピンチにおちいった慶長年間前後に着目し、永徳没後、「豪壮」から「華麗」へ、さらに新たな為政者徳川家に対応すべく、「瀟洒淡麗」へと画風を変えていく、大転換の過程を、永徳の後継者たちの作品を一堂にして辿るものです。また、この「桃山後期」に焦点をあてた狩野派の展覧会としては、過去最大規模となる、国宝1件、重要文化財23件、重要美術品1件、初公開作品3点を含む69件を出品し、百花繚乱のごとくその才能を花開かせた狩野派絵師たちの鏡演と戦いの歴史をご紹介します。



伝説殿像
奈良県立美術館



This stunning exhibition features vibrant golden folding screens and large-scale sliding door paintings by artists of the Kano school, whose history as Japan's most prominent painters lasted nearly four centuries. This exhibition features 69 works (including 1 National Treasure and 23 Important Cultural Properties). Come to the Kyoto National Museum to see the brilliant masterpieces that decorated the castles of warriors and the palaces of the imperial court.

「華麗」へ

重文 豊国祭礼図屏風(左隻部分)
内膳筆 京都・豊国神社
【5/75/17】

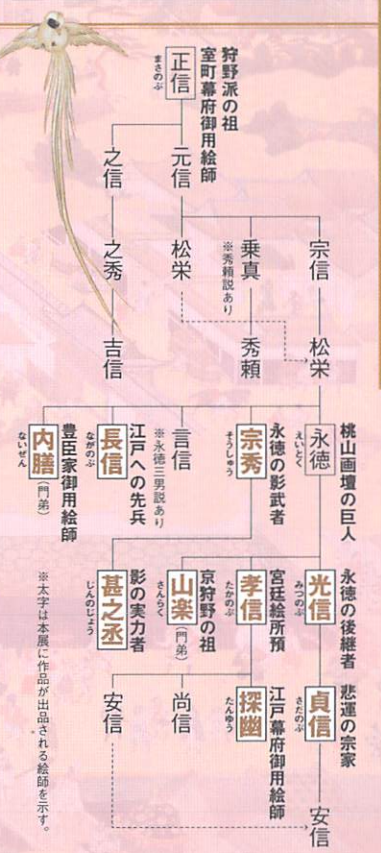
豊臣秀頼の命で制作された、豊臣家の一大イベント、秀吉七回忌臨時大祭の様子を描いたもの。群衆の渾身しい熱気が観る者を捉えてやまない。



重文 松に孔雀図壁貼付模
探幽筆
京都・元離宮二条城事務所

徳川家光が改修した二条城の丸御殿に描いた障壁画。超と級の巨大さを誇る松の表現は桃山絵画の延長線上にあるが、一方で動きや荒々しさを抑え、神を意図した構成は、幕藩体制の安定を狙う徳川家の志向と合致する。絵画における江戸時代の到来を告げる作品。

狩野派略系図とその戦略



「屈辱」からのスタート

桃山画壇に君臨した巨人・永徳の急死の後、大黒柱を失った狩野派一門に、さらに追い打ちをかける事件が起きた。それまで豊臣秀吉の手厚い庇護を受け、ほとんどの作画を任されてきた狩野派が、あろうことか最大のライバル、長谷川等伯に秀吉からの仕事を奪われたのだ。棟梁となったばかりの永徳の長男・光信にとって、これほどの屈辱はなかつただろう。そうした汚名をそぐべく、光信と一門は、まさに一丸となってあらゆる画事に邁進した。

その名も「三面作戦」?!

永徳の次男・孝信は、天皇の信頼厚く宮廷絵所預として活躍。また、永徳より34歳年下の弟長信は早くから徳川家康・秀忠に仕え、後に探幽が江戸幕府御用絵師の地位を手に入れるための、先兵の役割を果たした。一方、豊臣秀吉・秀頼の信任厚かった永徳の門弟山楽は、豊臣家滅亡の後も京に留まり、京狩野の祖としてその礎を築いた。はたして意図してか、狩野派のDNAが命じたのか、三面朝廷・豊臣徳川作戦によって、狩野派は幕末まで生き延びたのである。

「瀟洒淡麗」へ。



重文 四季花木図模
光信筆 滋賀・園城寺
豊臣秀頼が再建した勸学院の客殿に描かれた。複雑に交差する金雲とその合間から姿をのぞかせる美しい樹々は見る者に爽やかな印象を残す。繊細優美な絵画世界を創造した光信の最高傑作。

重文 吉野花見図屏風(左隻部分)
京都・細見美術館
【前期4/74/26】
秀吉が公家衆や家康ら諸大名を引き連れて桜の名所・吉野に赴いた光景を描いたもの。秀吉はホルトガル人使節から贈られた中国製の担ぎ籠籠に乗り、今まさに大鳥居に差し掛からんとするところ。

“日本という国は懐が深い”

—新発見・初公開の逸品が登場!



新発見 初公開

横に白鷺図屏風

山楽筆

そもそも、桃山時代の金碧大画で現存する作例は極めて少なく、本屏風の発見は、奇跡に近い。楡の巨木を躍動的に描いた永徳の代表作「楡図屏風」(東京国立博物館)を彷彿とさせ、本作も実物大の楡が画面外に突出するさまはスケール感豊かである。もとは壮大な室を飾る。横絵の二面分であったらしく、縦15センチ近い御殿引手の跡が残る。



新発見 初公開

北野社頭遊楽図屏風

李信筆

ごく最近発見された李信の風俗画。北野社や経堂の前で繰り広げられる酒宴や踊り、幔幕の中で食事を作る者たちの姿が克明に捉えられている。とくに女性に抱き付き頻りにしたり、肩に手を掛け言い寄るなどの色っぽい場面が大きく取り上げられているのは、狩野派の風俗画としては珍しいといえよう。保存状態も抜群で、金の輝きと濃麗な彩色が見事なハーモニーを奏でる。



初公開

源氏物語図屏風(右隻)

京都・檀王法林寺

光信様で描かれた大作。「桐葉」から「野分」までの25場面が配され、王朝文化らしい華やかさが伝わる。展覧会で紹介するのは本展が初となるもので、全面修復後の一新した姿でご覧いただく。

会期中、一部の作品は展示替えを行います
 ※主な展示替：前期4/7・14/26、後期4/28・5/17
 ※展示期間の表記がない作品は、全期間展示です

■観覧料(税込)	一般	大学生	高校生
当日	1,500円	1,200円	900円
前売・団体(20名以上)	1,300円	1,000円	700円

※中学生以下、障がい者の方とその介護者1名は無料となります(要証明)
 ※本料金で平成知新館の名品ギャラリーもご覧いただけます
 ※キャンパスメンバーズは、学生証をご提示いただくと団体料金になります
 ※前売券の発売期間は2015年3月1日から4月6日まで(会期中は当日券のみ)

お得な《早割ペアチケット》 期間限定発売
 2枚で2000円
 (一般のみ、1名様で2回使用可)

主なチケットの発売所
 チケットぴあ(Pコード:766-544)、ローソンチケット(Lコード:ペア券56684/前売・当日56685)、セブンチケット、イープラス、CNプレイガイド、JTB各店舗、近鉄の主な駅営業所、ほか主要プレイガイドとコンビニエンスストア
 ※チケット購入時に手数料がかかるサービスもありますので、各販売サイトをご確認ください

■記念座談会
 本展会期中の最初の土曜日に開催! 座談会の様子は後日、本展公式サイトにてテキスト掲載予定!

「日本美術応援団・桃山時代の狩野派を応援する!!」
 4月11日(土)

・時間=午後1時30分~午後3時
 ・会場=京都国立博物館 平成知新館 講堂(地下1階)

山下裕二(明治学院大学教授・日本美術応援団团长)
 井浦 新(俳優・京都国立博物館文化大使・日本美術応援団員3号)
 山本英男(京都国立博物館学芸部 首席研究員)

※定員200名。聴講料は無料(ただし、本展覧会の観覧券が必要です)
 ※当日、12時より平成知新館1階グランドロビーにて整理券を配布し、定員になり次第、配布を終了します

■アクセス

- JR・近鉄: 京都駅下車、駅前バスD2のりばから206・208号、D1のりばから100号系統にて博物館・三十三間堂前下車、徒歩すぐ
- 京阪電車: 七条駅下車、東へ徒歩7分
- 阪急電車: 河原町駅下車、京阪電車祇園四条駅から大阪方面行にて七条駅下車、東へ徒歩7分/または、河原町駅下車、四条河原町から207号系統にて東山七条下車、徒歩3分
- 市バス: 博物館・三十三間堂前下車、徒歩すぐ/または東山七条下車、徒歩3分
- ご来館はなるべく公共交通機関をご利用ください/駐車場は有料となっております



京都国立博物館 (〒605-0931 京都市東山区茶屋町527)
 電話075-525-2473 (テレホンサービス) ホームページhttp://www.kyohaku.go.jp/

展覧会ホームページ <http://kano2015.jp/>

オープンから2カ月で

入場者数33万人を記録した

“美の殿堂”―平成知新館

本展チケットで一緒にお楽しみいただけます!!

昨年(2014)9月に、平成知新館として装いも新たに生まれかわった名品ギャラリーでは、来春4月以降も日本が誇る至宝・慶品の数々を披露します。

国宝 慧可断臂図(部分)
 雪舟筆 愛知青年寺
 「展示期間4/14・5/10」

重文 波瀾図(部分)
 長谷川等伯筆 京都御林寺
 「展示期間4/14・5/10」



特別展覧会 桃山時代の

狩野派

永徳の後継者たち

Kano Painters
of the
Momoyama Period

Eitoku's
Legacy

2015年

4・7(火)ー5・17(日)

京都国立博物館

(東山七条)

明治古都館 KYOTO NATIONAL MUSEUM

開館時間：午前9時30分～午後6時(金曜日は午後8時まで)

※入館は閉館の30分前まで

休館日：月曜日※ただし5月4日(月・祝)は開館

主 催：京都国立博物館、毎日新聞社、NHKプラネット近畿

後 援：(公財)京都文化交流コンベンションビューロー

協 賛：野崎印刷紙業、大和ハウス工業、大林組

協 力：日本香堂



あなた、は
きつと、は
立ち尽くす。

【出品一覧・展示替予定表】

2015年
4.7 (火) — **5.17** (日)

京都国立博物館
KYOTO NATIONAL MUSEUM

明治古都館
明治古都館

主な展示替えII前期 / 4月7日～4月26日
後期 / 4月28日～5月17日

展示期間の記載のない作品は、全期間展示です。
指定名称には、左記の記号を用いています。
「国宝」：● 重要文化財：◎ 重要美術品：○
No.は図録番号です。展示順とは一致していませんので、ご了承ください。
都合により、展示作品および展示期間が変更されることがあります。

特別展覧会
桃山時代の狩野派
永徳の後継者たち

Kano Painters of the Momoyama Period
Eitoku's Legacy



唐獅子図屏風(部分) 狩野山楽筆 京都・本法寺

No.	指定	作品	賛者	筆者等	員数	所蔵	展示期間
-----	----	----	----	-----	----	----	------

第一章 永徳の残映 —金碧大画—

1	◎	松図襖		狩野光信筆	4面	京都・妙法院	
2		柳図屏風		狩野宗秀筆	6曲1隻	京都・相国寺	
3		唐獅子図屏風		狩野山楽筆	4曲1隻	京都・本法寺	
4		横に白鷺図屏風		狩野山楽筆	2曲1双		
5		牡丹図襖		狩野孝信筆	4面	京都・仁和寺	

第二章 華麗美の極致 —後継者・光信—

6		四季花鳥図屏風		州信印	6曲1双		前期
7	◎	松竹鶴亀図童具足(豊臣鶴松所用)		狩野光信筆	1領	京都・妙心寺	
8		花鳥図屏風		狩野光信筆	6曲1隻		後期
9		山茶花図屏風			6曲1隻	京都国立博物館	後期
10	◎	四季花木図襖		狩野光信筆	4面	滋賀・園城寺	
11		源氏物語図屏風			6曲1双	京都・檀王法林寺	
12		唐人物図貝桶		狩野光信筆	1対	三重・神宮徴古館農業館	1基ずつ前期・後期で展示替
13		三十六歌仙図扁額	八条宮智仁親王賛	狩野光信筆	6面	京都・高台寺	
14		扇面画帖		狩野宗秀筆	1帖		
15		三十六歌仙図扁額	照高院道隆賛	狩野山楽筆	5面	大阪・金剛寺	
16		土佐光吉宛書状		狩野山楽筆	1通	東京国立博物館	
17	◎	山水図襖		狩野山楽筆	4面	京都・正伝寺	

No.	指定	作品	贊者	筆者等	員数	所蔵	展示期間
-----	----	----	----	-----	----	----	------

第三章 より凛々しく、美しく—権力者の肖像—

18	◎	豊臣秀吉像	西笑承兌賛	狩野光信筆	1幅	愛媛・宇和島伊達文化保存会	前期
19		豊臣秀吉像	南化玄興賛	狩野光信筆	1幅		後期
20		伝淀殿像			1幅	奈良県立美術館	
21		高台院像			1幅	京都・高台寺	
22	◎	小早川秀秋像	弓箴善彊賛		1幅	京都・高台寺	前期
23		石川一光像	南化玄興賛	狩野光信筆	1幅	京都・東海庵	後期
24		松井与八郎像	玄圃靈三賛		1幅	京都・宝泉寺	
25		日禰上人像	自賛	狩野宗秀筆	1幅	京都国立博物館	
26		加藤清忠夫人像			1幅	東京・大東急記念文庫	
27		中川秀成夫人像			1幅	京都・大善寺	
28		閑室元信像		狩野孝信筆	1幅	佐賀・三岳寺	

第四章 にぎわいを描く—百花繚乱の風俗画—

29	◎	吉野花見図屏風			6曲1双	京都・細見美術館	前期
30	◎	豊国祭礼図屏風		狩野内膳筆	6曲1双	京都・豊国神社	5/7～5/17
31	◎	洛中洛外図屏風			6曲1双	富山・勝興寺	
32	◎	洛中洛外図屏風		狩野孝信筆	6曲1双	福岡市博物館	4/28～5/6
33		花下群舞図屏風			6曲1双	兵庫・神戸市立博物館	
34	●	花下遊楽図屏風		狩野長信筆	6曲1双	東京国立博物館	後期
35		北野社頭遊楽図屏風		狩野孝信筆	6曲1隻		
36		社頭風俗図屏風		狩野甚之丞筆	2曲1隻		
37	◎	調馬・厩馬図屏風			6曲1双	滋賀・多賀大社	前期
38	◎	調馬図屏風			6曲1双	京都・醍醐寺	後期
39	◎	犬追物図屏風		狩野山楽筆	6曲1双	文化庁	前期
40		南蛮屏風		狩野内膳筆	6曲1隻	文化庁	4/7～5/6
41	◎	南蛮屏風		狩野山楽筆	6曲1双	東京・サンリ-美術館	後期
42		唐船・南蛮船図屏風		狩野孝信筆	6曲1双	福岡・九州国立博物館	前期
43	◎	日本図・世界図屏風			6曲1双	福井・浄得寺	5/7～5/17

第五章 狩野派の底力—影武者たちの活躍—

44		韃靼人狩獵図屏風			6曲1双	福岡・九州国立博物館	後期
45		王会図屏風			6曲1双	滋賀・観音寺	前期
46		二十四孝図屏風			6曲1双	大阪歴史博物館	後期
47		唐美人製茶・唐子図屏風			6曲1双		前期

No.	指定	作品	賛者	筆者等	員数	所蔵	展示期間
48		文王霊台・鞆鼓催花図屏風			6曲1双		前期
49		帝鑑図屏風			6曲1双	福岡・九州国立博物館	後期

第六章 光信没後の大黒柱 — 宮廷絵所預・孝信 —

50	◎	賢聖障子絵		狩野孝信筆	12面	京都・仁和寺	
51		唐人物図屏風		狩野孝信筆	2曲1隻	京都・仁和寺	
52		唐人物図屏風		狩野甚之丞筆	2曲1隻	京都・仁和寺	
53	◎	雪松図屏風		狩野孝信筆	2曲1双	京都・法然院	
54		紫式部像	近衛信尹賛	狩野孝信筆	1幅	滋賀・石山寺	
55		羅漢図		狩野孝信筆	2幅	京都・東福寺	
56		土佐光吉宛書状		狩野孝信筆	1通	東京国立博物館	
57		唐人物・花鳥図座屏		狩野孝信筆	2基	京都・高台寺	
58		唐美人・唐子図襖		狩野孝信筆	4面	京都・光隆寺	後期
59	○	芒燕図屏風		狩野孝信筆	6曲1双	愛知・徳川美術館	前期
60		三十六歌仙図扁額	八条宮智仁親王 ら4名賛	狩野孝信筆	8面	愛知・徳川美術館	4面ずつ前期・後期で 展示替
61		狩野元信宛鄭沢書状(写し)		鉄山宗鈍筆	1幅	奈良・大和文華館	
62		探幽所用印(「絵事後素」)			2顆	東京・三井記念美術館	

第七章 女御御所に描く — 狩野派新世代 —

63	◎	住吉社頭図壁貼付		狩野貞信筆	1面	京都国立博物館	
64	◎	柳下高士図襖		狩野甚之丞筆	2面	京都国立博物館	
65	◎	唐美人図張台構貼付		狩野探幽筆	4面	京都国立博物館	
66		楼閣山水図戸襖		狩野貞信筆	4面	京都・麟祥院	

第八章 江戸絵画の扉を開く — 早熟の天才・探幽 —

67	◎	松に孔雀図壁貼付・襖		狩野探幽筆	6面	京都・元離宮二条城事務所	
68	◎	琴棋書画図襖		狩野探幽筆	4面	愛知・名古屋城総合事務所	
69	◎	柳鷺図戸襖		狩野探幽筆	4面	愛知・名古屋城総合事務所	
特別 出品		八尾狐図		狩野探幽筆	1幅		

◆展示映像のご案内

『家門を護る～永徳の後継者たち～』

(放映時間：10時～17時30分*金曜日は19時30分まで/所要時間：約10分)

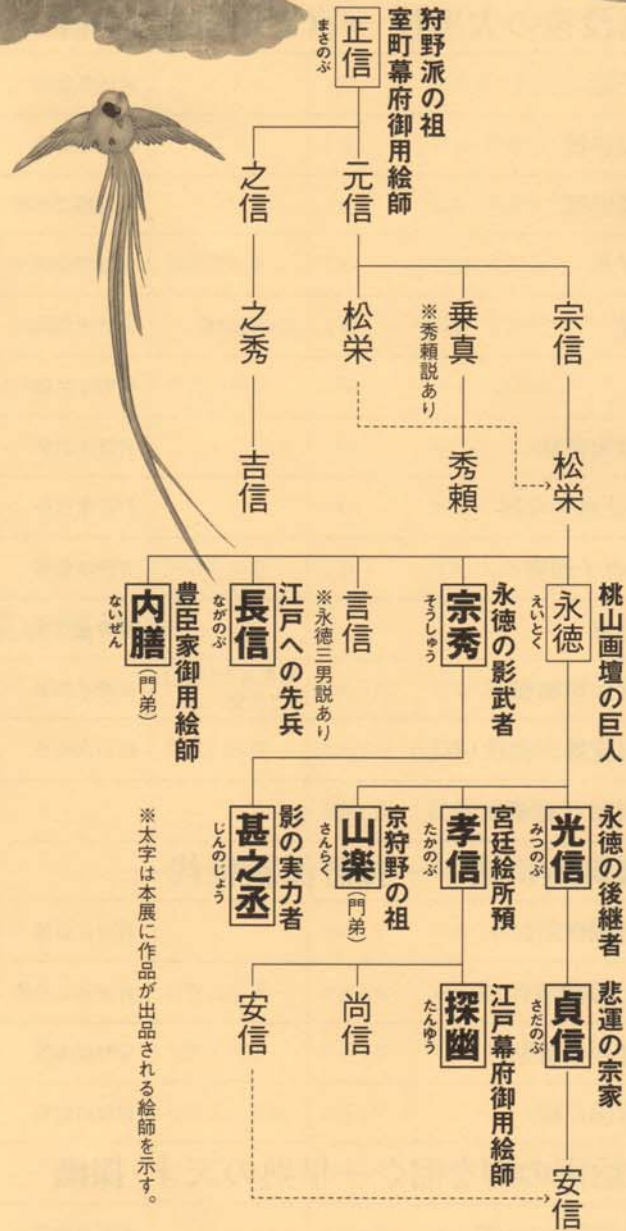
平成知新館 講堂(地下1階)、もしくは講堂前ロビーにて、本展の展示映像を放映しております。
展覧会をより深く知っていただける内容となっておりますので、あわせてお楽しみください。

◆平成知新館 名品ギャラリーのご案内

平成知新館2階・絵画展示室では、「桃山時代の狩野派」展にちなんで、雪舟、狩野永徳、長谷川等伯の代表作を展示しています。どうぞご覧ください。

狩野派略系図とその戦略

桃山時代を中心に



最大最強の絵師集団！

室町時代末から江戸時代の終わりまで、およそ四〇〇年にわたり、つねに画壇の中心を走り続けた最強最大の絵師集団、それが狩野派です。

始祖・正信は、室町幕府の御用絵師として活躍し、二代・元信は多数の弟子を抱え、幅広い顧客の要望に応えられる工房体制を確立しました。そして、元信の孫にあたる永徳は、信長や秀吉など天下人の寵愛を受け、時代の寵児となります。しかし、狩野派を悲劇が襲います。棟梁・永徳が急死したのです。先行き不透明な乱世の只中、ライバル長谷川等伯の台頭もあり、狩野派は最大のピンチに陥ります。さあ、狩野派はどんな秘策に打ってでたのでしょうか。

生き残り 大作戦！

関ヶ原の合戦を境に、天下の趨勢が一変する桃山後期。豊臣家、徳川家、そして朝廷と、三つ巴の様相を呈する権力の構図は、そのまま狩野派一門の生き残り戦略の基盤となりました。世に言う「三面作戦」です。

すなわち、豊臣家には弟子筋の山楽と内膳（ともに秀吉に画才を見出された武家出身の絵師）、徳川家には永徳より34歳年下の弟で光信の叔父である長信、そして朝廷には光信の弟で探幽・尚信・安信3兄弟の父でもある孝信（宮廷絵所預）をそれぞれ配しました。こうして、政情不安定なこの時代、どのような不測の事態が起きようとも、狩野派が存続できる体制を作り上げ、それは、幕末まで続く狩野派の繁栄の礎となりました。血統を重んじ、有力な弟子を抱えていた狩野派ならではの秘策といえます。